



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1965号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 野田 和秀 幹事 平出 利之



広重版画より 三島 朝霧

第2028回例会

2014.6.5雨

司 会 澤村康子君

国歌斉唱 四つのテスト

ロータリーソング 「奉仕の理想」
指揮 三田明宏君

会長挨拶 会長 野田和秀君

皆様こんにちは。ビジターの皆様ようこそ当クラブへお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。本日は、せせらぎ三島クラブの25周年記念式典のご案内のため、山本会長と大房実行委員長がおいでくださいました。後程、ご挨拶とご案内をいただきます。

さて、先々週の話の続きです。前回、未来工業における「差別化」について話しました。二つ目の注目すべきところは、全社員が正社員で、パート、契約社員は原則雇用しないという点です。山田相談役曰く、「戦後、23年目に、日本がGDPで世界第2位になったころ、パート、契約社員などいなかった。全員正社員で、また終身雇用であった。これまでの20年間を省みると、経済力と反比例的にパートや契約社員が増えてきた。パートや派遣で誰が頑張ろうと思うか。思うわけないよ。」これを正論としても、自社もそういう方向へ切り替えるというほど問題は簡単ではありませんが、以前、作家の塩野七生氏が対談で、語っていた「終身雇用制を全廃するという発想は、じつに愚かな経営者意識だと思う。それこそ、安定をあたえと、それなりにやるって人間がいることを全く理解していない。」という一節が頭にあり、山田相談役と相通ずる考えかなと思いました。現実の経営においては、あれか、これかではなく、バランスをとってやっていくことになるのでしょうか、ひとつのヒントとして頭の隅に置いておいてもいいのでしょうか。昨今人手不足で経営に支障きたす事例や大手銀行で、契約社員の待遇を正社員に部分的に合わせる等、これまでとは少し変わっていくのでしょうか。未来工業の話はこのくらいにして、いよいよ私の年度も終わりに近づいてきました。前年度の高野PGが冒頭のガバナー月信で「あなたは何故ロータリアン

なのか」との問いかけについて私信を述べておられました。なかなか答えにくい問いですが、私は、今聞かれたら、簡単に「幸せになりたいから」と答えようと思っています。「最もよく奉仕する」といわれるけれど、何に奉仕するか明言されていませんが、私は、「人々の幸せ」と考えています。その為には、まず自分がハッピーでなければ、成り立たないことだと考えるからです。時間もお金も労力も掛かる長い道でしょうが、それ故にこそ、また歩み続けていけるのかもしれない。以上会長挨拶とします。

“こんにちは、ようこそ”
ビジター 岩崎逸三君(沼津北RC)
山本良一君(せせらぎ三島RC)
大房正治君(せせらぎ三島RC)
勝又一郎君(三島RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	40/48	83.33%	42/48	87.50%
今回	41/48	85.42%	会員総数	52名

欠席者 石井(良)君、窪田君、佐野君、登崎君、長田君、前田(博)君、矢岸君

幹事報告 幹事 平出利之君

- ①6月12日(木)の第2例会の会場はプラザホテルに変更になっております。6時30分開会の点鐘です。室伏社長より若干のお酒のサービスがあります。
- ②栗田さんより、退会届がきました。次年度の手帳から、栗田さんを名誉会員として、掲載致します。

2013～2014年度
国際ロータリー会長
ロン D.バートン

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

おめでとう

会員誕生日 柴崎君
入会記念日 大畑君、西本君、田熊君、
平出君、前田(房)君、柴崎君
奥様誕生日 三田君

スマイルボックス

- ◆せせらぎ三島RC山本良一君、どうしてもお知らせしたいことがありおじゃまさせていただきます。
- ◆諏訪部(照)君、次年度のためになんとなく!
- ◆勝間田君、久しぶりの卓話です。宜しくお願いします。
- ◆室伏君、来週の夜間例会は職場見学ということで久しぶりの例会のお手伝いをさせていただきます。お待ちしております。

卓話

ロータリーは何が変わったのか、30年在籍して感じる事

勝間田信輔君

・会員の増員(新会員)の確保が難しく、徐々に減少に向かう
経済成長期や人口増加時に、拡大をはかりクラブ数が増えたと、低成長期で少子高齢化等や他のボランティア活動(NPO)等も増加し、会員の増加や維持が困難になる。他のクラブとの取り合い状態。ロータリーにはクラブの合併はない。あるのは会員の移籍しかない。

・形骸化

ロータリー精神や活動そのものが、本来の目的等が忘れられたり形ばかりになってしまい、マンネリ化している。原因としては、増員をはかったり退会を防止する為に、推薦人や先輩ロータリアンの教育や指導が以前より遠慮がちになってしまった。特に新会員に対する入会前と入会後のロータリー情報委員会の役割は大きいと思う。新しい取り組みや極めるといったチャレンジ精神が少ない。会長幹事を担う者は、ロータリーの手続要覧・定款・細則・内部規定・規約等の規範に注力し事務局任せにしないで自主的運営に重きを置き、各人のカラーを出しても良いのでは思う。外に向けた活動が少なくなって、ロータリー活動を外部へ発信する機会が少なくなった。地区行事・分区の行事・クラブの行事への参加意識が少なくなり、ロータリーを学ぶ場が減少し、他クラブや会員相互の交流も減少している。CLP導入はプラス効果だけでなくマイナス要因もある。

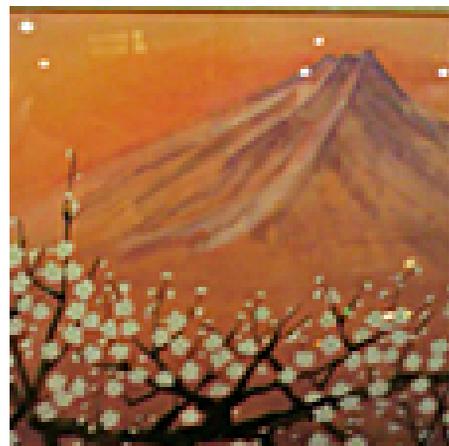
・会員の構成の変化

間もなく45年を迎えるが、会員の平均年齢が約10年で約4~5歳づつ上昇している。現在は、平均年齢が64歳、60歳代の会員構成が51%であり、60歳以上の会員構成は72%に達している。在籍年数で見ると、入会して5年未満が23%、25年以上の在籍者が23%と中間が少ない。ちなみに、創立時の平均年齢は40歳代であり若い人を常に入れる必要がある。政府の少子高齢化対策と同じ状況にある。

・予算と活動の関係

収入は会員の会費、特別会費、四大スマイルでまかなわれている。支出は、おもにRI・地区・分区へ納める分担金(人头割り)と、クラブ運営関係である例会費や事務局費等、会社で一般管理費と言われるものと、事業費である四大奉仕関係、そしてその他の特別会計で構成される。その中で、事業活動である各委員会の運営予算が年々減少の一途で、活発な事業活動やバランスを保つ事が困難な状況にある。ここでも会員数が大きく左右される事となり、1名増加すれば事業費に約6万円近く廻るが、減少すればその逆である。支出の中で事業費の構成費が今年度で23%で、会員数が65人位の時には35%近くあった時期もあった。額でも300万円以上減少している。従って、各委員会の事業活動費や活動内容も、抑制せざるを得ない。事業の活性化をはかる為には、予算の分配のバランスも一考を要すると同時に、事業費に予算を廻す為に特別会計の繰越金を周年記念や記念事業も大事だが、日々の事業活動に廻すといった活用も有効ではと考える。

絵画同好会作品



澤村 康子君

(週報担当:西本和夫)